

# JIS

## 伝動用及び搬送用ダブルピッチローラチェーン

JIS B 1803 : 2018

(JCA/JSA)

平成 30 年 10 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	槇 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.11.1 改正：平成 30.10.22

官 報 公 示：平成 30.10.22

原 案 作 成 者：日本チェーン工業会

(〒108-0075 東京都港区港南 2-16-2 太陽生命品川ビル TEL 03-5769-2137)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 量記号	3
5 種類	3
6 呼び番号	4
7 組立品及び構成部品の構造及び名称	4
8 形状及び寸法	6
8.1 ダブルピッチローラチェーン	6
8.2 A系アタッチメント	11
9 機械的特性	13
9.1 引張強さ	13
9.2 チェーン長さの許容差	13
9.3 部品の硬さ	14
10 試験方法	14
10.1 寸法測定	14
10.2 引張強さ試験	14
10.3 チェーン長さの測定	15
10.4 硬さ試験	16
11 検査	16
12 製品の呼び方	16
13 表示	17
13.1 製品の表示	17
13.2 包装の表示	17
附属書 JA (参考) スプロケット	18
附属書 JB (参考) B系アタッチメント	26
附属書 JC (参考) A系ダブルピッチローラチェーンの JIS と対応国際規格との呼び番号対比表	28
附属書 JD (参考) JIS と対応国際規格との対比表	29
解 説	32

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本チェーン工業会（JCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS B 1803:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 伝動用及び搬送用ダブルピッチローラチェーン

## Double-pitch precision roller chains for transmission and conveyors

### 序文

この規格は、2006年に第4版として発行されたISO 1275を基とし、我が国の実情に合わせて技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JDに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、伝動及び搬送に用いるダブルピッチローラチェーン及びA系アタッチメントの特性について規定する。

なお、ダブルピッチローラチェーンに関連するスプロケット及びB系アタッチメントについては参考情報として、附属書JA及び附属書JBに記載する。A系ダブルピッチローラチェーンの呼び番号は、対応国際規格の呼び番号と異なる。A系ダブルピッチローラチェーンのJISと対応国際規格との呼び番号対比表を附属書JCに記載する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1275:2006, Double-pitch precision roller chains, attachments and associated chain sprockets for transmission and conveyors (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 1801** 伝動用ローラチェーン及びブシュチェーン

**注記** 対応国際規格：ISO 606, Short-pitch transmission precision roller and bush chains, attachments and associated chain sprockets

**JIS B 1812** チェーン、スプロケット及び附属品—用語

**JIS B 7502** マイクロメータ

**JIS B 7507** ノギス

**JIS B 7721** 引張試験機・圧縮試験機—力計測系の校正方法及び検証方法

**JIS Z 2244** ビッカース硬さ試験—試験方法

**JIS Z 2245** ロックウェル硬さ試験—試験方法